

F2-32

周辺地域が持つ津田沼パルコに対するイメージの基礎的研究  
過去の新聞記事を対象として

The Basic Study on the Image of Tsudanuma PARCO in the Local Community  
Focusing on Descriptions of Past Newspaper Articles

○吉野聡汰<sup>1</sup>, 西山孝樹<sup>2</sup>, 天野光一<sup>2</sup>

\*Sota Yoshino<sup>1</sup>, Takaki Nishiyama<sup>2</sup>, Koichi Amano<sup>2</sup>

The purpose of this study was to clarify the image surrounding Tsudanuma Parco has in the surrounding area. The results revealed that Tsudanuma Parco has built good relationships with local shopping associations and local residents and has progressed together with the community.

1. はじめに

昭和52(1977)年7月、津田沼駅前に開業した津田沼パルコは、令和5(2023)年2月28日に閉店した。そこで本研究では、周辺地域が持つ津田沼パルコに対するイメージを明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

本研究では、Table.1で示した津田沼パルコが開業した1977(昭和52)年7月から2023(令和5)年5月までの新聞記事を対象とした<sup>[1],[2],[3],[4],[5]</sup>。

3. 津田沼パルコの地域イメージ

本研究では、382件の新聞記事を抽出でき、それらから119件を研究対象とした(Table.1)。

(1) 若者が集い文化を牽引する華やかなイメージ

津田沼パルコが開業した1977(昭和52)年から、広告が新聞に掲載された。それらは、衣類や雑貨などを取り扱う専門店を主なテナントとするファッションビルであることを直接的に想起させない広告であった。

津田沼パルコが開業した1977(昭和52)年12月から1978(昭和53)年5月の半年間、「パルコなぞなぞシリーズ」と題した広告が出され、各回のなぞなぞの答えを次の広告に出すという斬新なものであった。

さらに、1977(昭和52)年~1980(昭和55)年には、パルコで開催される大売り出し「グランドバザール」の広告も掲出された。そこには、「マドモアゼル、

お召し物のご準備は？」というキャッチコピーと共に、外国人モデルのイラストが紙面いっぱいに描かれた。2022(令和4)年には、先の広告ポスターを一堂に集めた展示会が開かれた。展示会に来場していた女性は、「パルコの全盛期から店に通っていた。いま見ても斬新でかっこいい」と述べ、最先端の文化をパルコが発信していた拠点であったことが窺える。

(2) 地域住民の青春時代が詰まったイメージ

津田沼パルコに対する華やかなイメージを語り、自分自身の青春時代を振り返る記述が多くみられた。

最後の屋上イベントで演奏した市立船橋高校出身のミュージシャン・ハッチハッチェルさん(55歳)は、「パルコは高校時代、見えをはって服を買いに来るかっこいいところだった。ずっとあると思っていた。」さらに、地域FMの阿部新太郎さん(48歳)は、「少年時代、パルコの映画館や模型店、ゲームセンターに通い、洋服店でアメリカンカジュアルを買った。(中略)CDや本に巡り合えるパルコは「行けば何かインプットがある所だった」この頃、交際していた女性もパルコで働いていた。まさに青春を過ごした場所だった。」

商品を販売するファッションビルのイメージだけではなく、文化や情報も発信する憧れの場所であった。

江戸川区在住(55歳)の方は、

「千葉市に住んでいた高校時代、通学の途中によく立ち寄った。渋谷まで行かなくても、ここに東京のかっこよさがあった。東京を切り取って千葉に持ってきてくれた。」

渋谷の空気感を高校の通学途中で、身近に体感できたことは大きな魅力であった。船橋市の女性(65歳)は、「当時は渋谷のパルコまで出かけていたが、津田沼に

Table.1 研究対象とした新聞記事とその抽出方法<sup>[1]~[5]</sup>

No	年代	対象とした新聞	抽出件数	対象件数
1	1977年	「千葉版の話題」冊子 ※千葉県立図書館所蔵	5	5
2	1977~2011年	千葉日報縮刷版	4	4
3	1977~2023年	ヨミダス歴史館	19	19
4	1987~1996年	千葉県立図書館菜の花ライブラリー ※千葉日報の見出し検索が可能	8	4
5	1990~2023年	朝日新聞クロスサーチ	30	26
6	2005~2023年	ヨミダス歴史館	24	23
7	2012~2023年	千葉日報オンライン	292	38
合計			382	119

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

もできることを知り、すごうれしかった。はじめでアルバイトをしたのもパルコ。結婚後も子どもをつれ、よく訪れた。あまりにも思い出がありすぎる。

閉店は本当にさみしい」

「学生時代はともだちと、それから主人と、そして今は子どもとよく来ています。いつか復活してほしいな。またね」

前出のコメントと同様、渋谷まで出かけなくても津田沼で買い物ができる利点を挙げ、パルコで働くことも自慢であった。親子2世代にわたって津田沼パルコを利用し、人生の一部になっていることもわかった。

さらに、パルコは手の届かない存在ではなく、愛される存在であったエピソードも語られていた。津田沼パルコのテナントで雑貨・アクセサリ店「レイズ」店長の野平裕嗣さん(63歳)は、

「態度が悪い高校生らを叱っていたら、後で仲良くなった。(中略)20年近く営業するうち、連絡を取り合う子どもたちは返信しきれないほど増えた。」

自身の親のような存在であり、高校生の自宅がある地元にある個人商店の店主のような存在であった。

「かいだんのところに貼っていたポスターが欲しくて『いつ貼りかえますか』って聞いたら、その場ではがしてくれました。ウレシクてずーっと部屋に飾ってました。」

杓子定規ではない、津田沼パルコのファンを大切に語るエピソードも垣間見れた。

### (3) パルコと地元商店街が良好な関係にあるイメージ

津田沼パルコは船橋市と習志野市に所在し、商店会会員にもなっていた。船橋市前原商店会大塚智明会長(48歳)と津田沼一丁目商店会杉林昇会長(68歳)は、「45年、一緒に津田沼の発展に努力してきたパートナー。自然とありがとうという気持ちになる」

「大型店抜きに成り立たない。協力して活性化を図ってきた。お客さんも私たち『津田沼』に買い物や仕事に来ている感覚。」

「自分たちの世代にとってパルコはモードの最先端をいく店。物売るだけではなく情報の発信拠点であり、津田沼のステータス」

大型商業施設である津田沼パルコと周辺商店会の信頼関係が開業当初から構築されてきた。まずは若者が津田沼パルコを目指して訪れ、それから周辺の商店街へ人の流れが生み出され、地域全体がパルコの恩恵を受けた構図がみてとれた。船橋市および習志野市へ訪れるイメージよりも、津田沼を訪れるイメージを根付かせたのは、パルコの存在が大きかったと考えられる。

### (4) 全盛期のパルコの賑わいを取り戻すイメージ

これまで述べてきた津田沼パルコのイメージに対する変化がみられたのは2010年代であった。

2010(平成22)年、津田沼駅前にあった「テアトルシネパーク」が閉館した。2012(平成24)年には、津田沼パルコが大規模改装に踏み切り、衣料品チェーン「しまむら」がテナントとして入居した。

2014(平成26)年、献血センターが多目的室を併設させ、アロマ教室や手芸講座などが開かれた。新聞記事には「ママ友グループや学生の姿が見られるようになった」とあり、全盛期でみられたパルコを目指して若者が来店するイメージは喪失したものと推察される。2017(平成29)年、習志野市のアンテナショップが津田沼パルコのテナントで開業した。パルコに魅力を感じて来店していたイメージから、入居するテナントに魅力を持たせるなど、苦慮している様子であった。

### (5) 地域と共に歩み、津田沼を発展させたイメージ

2021(令和3)年、津田沼パルコの閉店が正式発表された。それ以後、様々なイベントが企画、実施された。津田沼パルコ店長は、「店が愛されていたと感じる」「街に思い出を残したい」と述べており、その背景には3(3)でも述べた信頼関係があった。

「商店会からお叱りを受けるのではと懸念した。ところが、皆さんは優しく思い出を語り、45周年を一緒に盛り上げようと言ってくれた。恩返しをしたいと思った。」

また、津田沼パルコの閉店日である2023(令和5)年2月28日、JR津田沼駅の看板1枚を1日限定で「つだぬまパルコ駅」に変更した。船橋市および習志野市の両市長も駆けつけ、地元商店会と共に記念イベントを開催した。地域に愛されてきた商業施設であった。

## 4. まとめ

首都圏に所在する都市の駅前であっても、百貨店などの閉店が相次いでいる。そのなかで、津田沼パルコは地元商店会とも良好な関係を築き、地域と共に歩んできた。その構築手法は今後の中心市街地活性化を行う際にも大いに参考となる点がある。

## 5. 参考文献

- [1] 朝日新聞：「朝日新聞クロスサーチ」, <https://xsearch.asahi.com>, 2023.9.20 閲覧。
- [2] 読売新聞：「ヨミダス歴史館」, <https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>, 2023.9.20 閲覧。
- [3] 千葉日報：「千葉日報オンライン」, <https://www.chibanippo.co.jp>, 2023.9.20 閲覧。
- [4] 千葉県立図書館：「菜の花ライブラリー」, <https://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/>, 2023.9.20 閲覧。
- [5] 千葉日報：「千葉日報縮刷版」, 千葉日報社, 1977年～2011年。